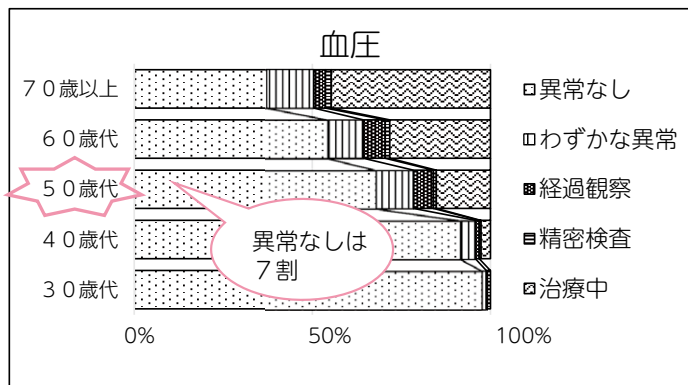


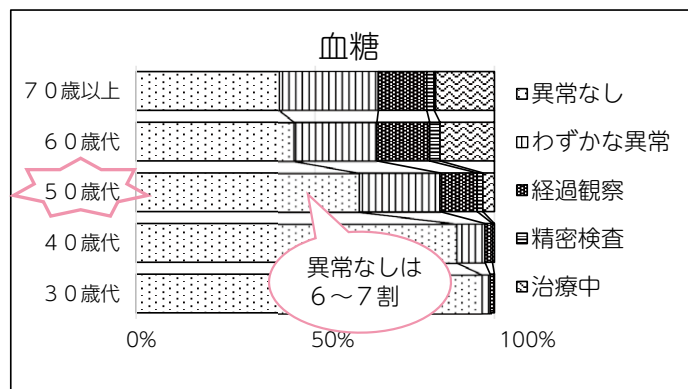


高血圧、高血糖は50歳代、 脂質異常は30歳代から要注意

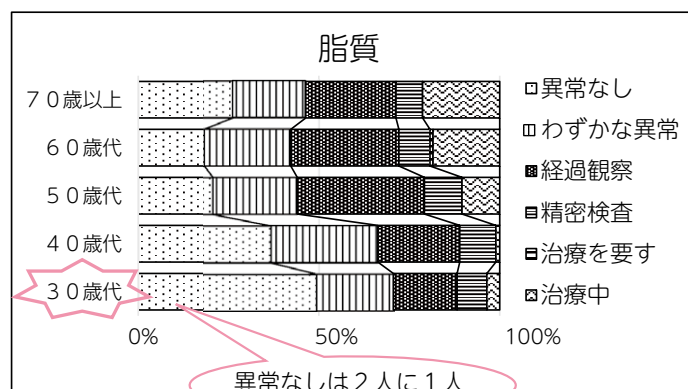
～2019年 人間ドック・総合健診の結果から～



血圧で「異常なし」の判定の人は、30歳代は9割以上ですが、50歳代から大きく減少し、「経過観察」が増え、60歳代、70歳以上の方は治療中の割合が多くなっています。50歳を超えたら、血圧の変動に注意が必要です。



血糖も血圧と同じように50歳代以降から「異常なし」の人の割合は減少しています。50歳代以降から「経過観察」の割合が大きく増加しています。糖尿病性腎症や網膜症などの合併症などの重症化を防ぐために、医療機関を早めに受診しましょう。



脂質は30歳代から「わずかな異常」「経過観察」の割合が血圧、血糖に比べて多くなっています。自覚症状がないため、異常があるまま放置しておくと動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こしやすくなります。

健診の結果を放置するのではなく、前回の検査値と比較して体の変化を見逃さないようにしましょう。「要精密検査」、「要受診」の場合は生活習慣を見直し、医療機関を必ず受診しましょう。

体は常に変化しています。年に1回は健診を受けて自分の体の状態を確認しましょう

●問合せ先 すこやかセンター内保健環境課